

発展途上国の医療・保健 そして日本の医療保険制度を考える

WHO南東アジア地域事務所医務官
JA長野厚生連佐久総合病院

スマナ・バルア 博士
色平 哲郎 医師

日時 平成23年 8月11日[木] 14:00～

会場 星槎高尾キャンパス

<http://www.seisa.ed.jp/takao/access.html>

主催：WiNG 共催：星槎グループ・世界子ども財団

今回のWiNG主催の講演会では、当団体アドバイザーでもある日本の医師・医学生の心の師、WHO南東アジア地域事務所医務官スマナ・バルア博士から講演をいただき、先日NHK「視点・論点」国民皆保険50年にも出演された、佐久総合病院地域ケア科医師・色平哲郎医師からもお話をいただきます。

現場の生の声から私達に求められている国際保健や、日本の皆保険の医療制度について皆さんと一緒に考える機会になればと思います。

たいへん貴重な講演会ですので、お誘い合わせのうえ是非ご参加下さい！（講演は日本語で行われます。）講演会后、WiNGメンバーによるバングラデシュ・アグラサーラ孤児院報告会、並びに世界子ども財団からの報告も行いますので、こちらもぜひご参加ください。

■スケジュール

- 13:30～14:00 受付
- 14:00～14:10 挨拶
- 14:10～15:30 セッション1 スマナ・バルア医師・色平哲郎医師 講演
- 15:40～16:15 セッション2 WiNG・アグラサーラ孤児院活動報告
- 16:15～16:45 セッション3 座談会
- 16:50～17:20 セッション4 世界子ども財団より
- 17:20～17:30 閉会



スマナ・バルア医師

■定員／対象

300名／学生・社会人問わず ※定員に達し次第、締め切ります。

■参加費用

無料

■お申し込み・お問い合わせ

メール：working.with.ng.s@gmail.com (WiNG事務局)
・氏名・所属をご連絡ください。
・件名は「8月11日講演会参加申し込み」としてください。
FAX：同封しているFAX用紙に必要事項をご記入いただき
0463-60-3507までお送りください。



色平哲郎医師

星槎高尾キャンパス までのアクセス

- 京王高尾線・JR中央線高尾駅下車 北口へ出て、北口ロータリー2番バス乗り場より西東京バスで10分
- ①ホームスタウン行き 「元八二丁目北」下車徒歩5分～進行方向を戻り横断歩道を渡る
→読売新聞の販売店の角を左に入る→十字路に出たら左→道なりに進んでいただくと正面に見えてきます
 - ②グリーントウン高尾行き(元八王子事務所経由) 「石神坂」下車徒歩5分
→進行方向を戻り、元八王子二丁目信号を右折 →道なりに進んでいただくと正面に見えてきます
- *高尾駅北口より当講演会用の送迎バスがございますが、本数が少ないのでご注意ください。

地図 <http://www.seisa.ed.jp/takao/access.html>

—講師略歴—

●スマナ・バルア医師

WHO南東アジア地域事務所医務官。1955年バングラデシュ生まれ。国立ティトゥミール短期大学卒業後、76年来日、働きながら日本語学校で学ぶ。79年フィリピン国立大学レイテ校入学、助産士、看護師、医師の資格を取得。89年から故郷の医科大学で教えながら地域医療に従事、地元NGOの保健医療コーディネーターとしても活動。93年東京大学医学部大学院国際保健計画学教室に入学、各地の医学部や看護大学、小・中学校、国内外のNGOで講演活動を続け、96年3月に東京大学医学部にて修士号、99年3月に同学部にて医学博士号を取得。2002年よりWHOに勤務。

『アジアには、母国同様に医療状況が悪い国がたくさんあります。汚い水を飲み、ごみの山で暮らす人々。一人ではどうしようもない。仲間が必要です。世界保健機関(WHO)の仕事に就いて、アジアの地域医療に関心がある人材を育てることにしました。……豊かな日本にいれば、アジアの現実を目をつぶって「私には関係ない」と考えることもできます。しかしそういう人は自分に対し「人間として生きているか」と聞いてみた方がいい。』

(山ろく清談 信濃毎日新聞 2010年8月18日 一面インタビューより)

●色平哲郎(いろひら てつろう)医師

1960年 横浜市生まれ

1978年 東京大学入学

1990年 京都大学卒。内科医。

1998年から10年間、長野県南相木(みなみあいぎ)村国保直営診療所長。

2008年春からJA長野厚生連・佐久総合病院地域ケア科医師。

医学教育や国際保健活動に関わる一方で、一般内科医として訪問診療・在宅ケアを担当する。外国人HIV感染者・発症者への「医職住」の生活支援、帰国支援を行うNPO「アイザック」の事務局長としても活動を続ける。こうした活動により1995年、タイ政府より表彰を受ける。

現在は、通算12年間の村国保診療所長としての経験を生かしながら、大学での講義、医療経済やメディカルリテラシーに関わる市民向け講演も行っている。

□WiNGとは…

世界の子どもたちと交流し、意味ある支援を考え実行していくこと、そして日本・世界共同体の問題を共に学んでいくことを目標として活動する団体です。多くのメンバーは学生で構成されていますが、学生以外のメンバーも多数です。

現在は、バングラデシュ・アグラサーラ孤児院を中心として、primary health careの実践や栄養改善、その他、教育などhealthとは異なる分野のプロジェクトも進行させております。また、日本では様々な分野の講師を招き、講演会や勉強会を主催するとともに、学生をはじめとした広いネットワークを作りたいと考えております。

詳しくはこちらまで→<http://wing10.web.fc2.com/>

